

市民会館跡地等整備対策特別委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和6年10月16日（水）～17日（木）

2 視察項目（視察都市）

- ・ P a r k－P F Iによる鵜沼海浜公園の設置について（藤沢市）
- ・ 南池袋公園の整備について（豊島区）

3 参加委員

委員長：下野 巖、副委員長：大嶺 さやか

委 員：永田 真樹、大村 卓司、西本 睦子、松本 泰典、岩本 守

委員外議員：辰見 直子

4 調査概要

藤沢市の鵜沼海浜公園は、昭和36年に民間事業者に設置管理許可を行い、プールとして供用を開始した。平成13年には、設備を改修してスケートパークとして有効活用した後、平成30年に日本最大級のコンビプールを設けたことや、スケートボードがオリンピック正式種目に採用されたこともあり、入場者数は大幅に増加した。一方、管理事務所やトイレ等、多くの設備がプール施設のままで老朽化が激しかったこと等から、P a r k－P F Iを活用して公園を全面的に更新し、令和6年にスケートパークとしてオープンした。

豊島区の南池袋公園は、各路線池袋駅近隣に立地し、昭和26年に開園した後、地下鉄工事や駐輪場整備等を経て平成28年に再オープンした。天然芝や約2,500本の植樹、外周のミスト設備等、災害や猛暑対策を行い、都会で安全・快適に過ごせる工夫をしている。また、多目的広場やキッズテラス等、多世代が楽しめる空間を備え、イベントも積極的に行っている。施設管理は民間企業に委託、カフェレストランはプロポーザル方式で選定した事業者に設置管理許可をしている。地域住民による「南池袋公園をよくする会」も組織され、3者が主体的に関わり合いながら、持続可能で居心地の良い公園経営を行っている。



5 委員長所感

鵜沼海浜公園は、湘南海岸、富士山等の眺望もよく、スケートボードやBMXの練習設備が非常に充実しており、とくに若年層の利用が多かった。本市の市民会館跡地は、利便性から多くの人的流動が見込まれるため、安全な流動線、魅力ある店舗の参入に努めるとともに、利用頻度が高く、自由に使用可能な場所の確保についても考慮する必要があると感じた。

南池袋公園では、公園管理を業者に委託し、料金安価で魅力的な飲食店舗を10年間の設置管理許可で誘致したほか、区が運営調整等を行い、質の高い憩いの場を提供している。市民会館跡地活用においても、関係事業者や団体による管理運営への積極的な参加、行政による助言の重要性及び議会としての監視・監督と応援の必要性を感じた。